



のんびり過ごす インクルーシブな マルシェ



前回の様子

フードやクラフトの販売、手話による絵本の読み聞かせや椅子ヨガ、ワークショップなどが行われ、さまざまな人たちがのんびりと交流しながら、思い思いの時間を過ごしました。

2023年4月、多賀城市文化センターで第1回目が開催された「スロウ日和」。おいしいもの、きれいなものをつくり出すのに障がいの有無は関係ないという想いのもと、耳の聞こえないつくり手のみなさんを中心とした約50団体が出店しました。「耳が聞こえないとはどういうことか?」「手話や筆談を使ったコミュニケーションはどんな感じなのか?」それらに関心を持ってほしい。「障がいのある人が作った商品」ということを表に出さず、商品そのものに目を向けてもらいたい。多様な人たちが活躍していることを知ってもらいたい。主催団体 SEND. の羽生裕二さんのそんな願いからスロウ日和はスタートしました。

3月に開催される第2回目は、「家族」をテーマに子どもも大人も楽しめるようなイベントを企画しています。遊び場やワークショップなど、子ども向けの内容を充実させるほか、子ども連れでも出店や買い物がしやすいように、キッズスペースを設ける予定です。「どんな環境の人にも公平に出店の機会を設けることで、インクルーシブな地域づくりに向けて、相互理解を進めていきたい」と話す羽生さん。継続することで、イベントの枠を超えた日常的な関わりが生まれるコミュニティにもできると考えています。今後も、スロウ日和のような大規模なマルシェに限らず、年に数回、いろいろな場所で開催できるような小規模なイベントを企画、多様な人たちの活躍の場を設け続けていきます。



◀SEND.代表
羽生裕二さん

スロウ日和
Instagram



次回のスロウ日和

日時 2024年3月24日(日) 10:00 ~ 16:00

会場 多賀城市文化センター
フード：大ホールホワイエ
クラフト：展示室
ワークショップ：創作室
キッチンカー：西側駐車場

入場
無料



地域の一員としてできること。



伊藤さん



藤井さん

多賀城中学校では、
令和5年度からボランティアセンターが開設され、
有志の生徒たちが活動しています。



中里校長先生

ボランティア活動を通じて地域とつながる

多賀城中学校のボランティアセンターには現在22人が登録しています。今回お話を伺ったのは、これまでに地域の集会所で開催された認知症カフェや福祉施設で入居者の話し相手をする活動などを体験したという伊藤さんと藤井さん。伊藤さんは、幼少の頃に地域のお祭りを手伝った経験があり、もっと地域の人との交流を持ちたいと思って活動を始めました。「いつもは接することのない人と交流することが楽しい」と感じており、これまでの活動で地域の人と知り合いになり、顔を合わせるとあいさつをするような関係になりました。藤井さんは、社会の授業でボランティアについて学び、興味を持ちました。ボランティアを通して外国の人の役に立ちたいという目標があり、「スーパーやコンビニで見かけることはあっても、なかなか接点がない外国の人と関わりながら、海外の文化を学びたい」と考えています。さまざまな人たちと関わりを持つことができる活動を通じて、自分の住む地域をより知ることができ、好きになるきっかけにもなっています。

地域と関わることで自己の役割を考える

ボランティアセンターを立ち上げた中里校長先生には「生徒たちに主体的に生きることを意識してほしい」という想いがあります。「楽しみながらボランティア活動などの社会体験をすることで視野が広がり、福祉の勉強や地域とのコミュニケーションのきっかけになります。住んでいる場所で役割を持つことは“自分も地域の一員として役に立てる”という自信につながります。ボランティアを通して、どんなことにやりがいを感じるのかを見つけてほしいと思います」と話す校長先生。「子は鎚」というのは地域にもあてはまる言葉で、子どもによってつながりを保つことができます。「子どもを巻き込んで地域コミュニティを作っていくことで、災害などの緊急時にもスムーズな対応が可能になると考えています。これからも地域に積極的に関わることをできる人材の育成を目指していきたいです」と笑顔で話してくれました。



↑活動の中で、地域の人から昔の多賀城の様子や遊びの話などを聞くのが新鮮です。



↑たがさばのクリスマス雑貨市では出展団体を巡るツアーを考え、来場者を案内しました。

「tag」とは

「tag」には、多賀城(tagajo)」の頭文字3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



ホームページ



ブログ

アンケート

誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！



- ・自分たちの団体を取材してほしい
- ・こんな話題を取り上げてほしい
- ・ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている